

平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー

コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 佐藤 大央

TEL 03-5940-2215

四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	1,933	△10.5	160	105.7	173	123.3	167	214.9
23年9月期第2四半期	2,159	△0.1	77	△23.7	77	△23.2	53	140.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	2,932.56	—
23年9月期第2四半期	939.07	938.22

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年9月期第2四半期	2,495		1,425		57.0	
23年9月期	2,079		1,260		60.5	

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 1,422百万円 23年9月期 1,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	0.00			
24年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	△9.4	200	59.8	200	58.7	180	—	3,152.36

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無になります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期2Q	57,100 株	23年9月期	57,100 株
24年9月期2Q	— 株	23年9月期	— 株
24年9月期2Q	57,100 株	23年9月期2Q	56,628 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想数値に関する事項につきましては[添付資料]P.3「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9
(2) 各会計期間における予算対比	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、各種の政策効果などを背景に、景気は緩やかに持ち直しておりますが、東日本大震災の影響による電力供給の制限や原子力災害の影響、欧州の政府債務危機等の影響により、国内景気の下振れリスクを抱えた先行き不透明な状況にあります。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業界におきましては、在庫の調整等により生産回復の兆しが見受けられましたが、今後歴史的な円高により海外拠点へのシフトが加速する可能性が高まる等、設備投資の低迷長期化や国内雇用の空洞化による中長期的な成長鈍化の懸念があります。

当社の営む人材アウトソーシング事業におきましては、景気の先行き不透明な状況に伴い顧客企業との派遣契約更新の打ち切り、派遣料金の引下げ、稼働時間の短縮等、依然厳しい外部環境となっております。

このような状況の中、当社におきましては、引き続き人材の育成に注力し、付加価値の高い人材サービスの提供をすることで顧客企業のニーズに対応すると共に、営業力の強化を重点課題に揚げ、サービスの充実および稼働率の向上に努めてまいりました。

売上高につきましては、受注環境が緩やかに回復し稼働率が徐々に改善してきており、前年同期は下回ったもののほぼ計画通りの推移となりました。

営業利益、経常利益、四半期純利益につきましては、前事業年度に行った支店の閉鎖移転・一棟寮の解約による費用の圧縮および前事業年度から引続き費用の抑制を行ったことにより、計画以上の効果を得ることができ増益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高1,933百万円（前年同期比10.5%減）、営業利益160百万円（前年同期比105.7%増）、経常利益173百万円（前年同期比123.3%増）、四半期純利益167百万円（前年同期比214.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の分析

当第2四半期会計期間末における総資産の残高は2,495百万円（前事業年度末は2,079百万円）となり416百万円増加いたしました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は2,028百万円（前事業年度末は1,931百万円）となり96百万円増加いたしました。

主な要因は、現金及び預金の増加によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は467百万円（前事業年度末は148百万円）となり319百万円増加いたしました。

主な要因は、投資有価証券の増加によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債の残高は1,070百万円（前事業年度末は819百万円）となり251百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は671百万円（前事業年度末は549百万円）となり122百万円増加いたしました。

主な要因は、借入金の増加によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は399百万円（前事業年度末は270百万円）となり128百万円増加いたしました。

主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は1,425百万円(前事業年度末は1,260百万円)となり164百万円増加いたしました。

主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末より569百万円増加し1,429百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は131百万円(前年同四半期に得られた資金は168百万円)となりました。これは主に税引前四半期純利益の計上による173百万円の増加、賞与引当金の減少43百万円、退職給付引当金の減少21百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は154百万円(前年同四半期に使用した資金は7百万円)となりました。これは主に貸付金の回収による収入500百万円、投資有価証券の売却による収入126百万円、投資有価証券の取得による支出470百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は284百万円(前年同四半期に使用した資金は33百万円)となりました。これは主に借入による収入365百万円、借入金の返済による支出81百万円によるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期通期の業績につきましては、平成24年4月27日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減却償却の算定方法

定率法を採用しているものについては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法としております。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	859,754	1,342,114
受取手形及び売掛金	525,620	527,687
仕掛品	—	941
関係会社短期貸付金	500,000	—
その他	50,067	157,503
貸倒引当金	△4,134	△159
流動資産合計	1,931,309	2,028,087
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,233	4,397
工具、器具及び備品（純額）	12,302	9,750
有形固定資産合計	16,536	14,147
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	0	354,228
敷金及び保証金	92,684	65,300
その他	634	629
投資その他の資産合計	93,319	420,157
固定資産合計	148,473	467,737
資産合計	2,079,782	2,495,825
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	365
短期借入金	—	94,000
1年内返済予定の長期借入金	—	40,000
未払金	38,098	52,034
未払費用	251,991	247,268
未払法人税等	10,177	9,481
未払消費税等	27,355	28,586
賞与引当金	170,317	126,719
その他	51,145	72,967
流動負債合計	549,086	671,423
固定負債		
長期借入金	—	150,000
退職給付引当金	266,441	245,362
その他	3,759	3,670
固定負債合計	270,200	399,033
負債合計	819,287	1,070,456

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	869,400	869,400
資本剰余金	346,356	346,356
利益剰余金	41,595	209,044
株主資本合計	1,257,352	1,424,801
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△2,574
評価・換算差額等合計	—	△2,574
新株予約権	3,142	3,142
純資産合計	1,260,494	1,425,369
負債純資産合計	2,079,782	2,495,825

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)
売上高	2,159,815	1,933,353
売上原価	1,700,529	1,429,095
売上総利益	459,286	504,257
販売費及び一般管理費	381,319	343,899
営業利益	77,967	160,358
営業外収益		
受取利息	129	1,639
投資有価証券売却益	—	12,359
貸倒引当金戻入額	—	3,975
助成金収入	—	2,133
その他	901	1,008
営業外収益合計	1,030	21,115
営業外費用		
支払利息	478	1,535
支払手数料	—	3,863
その他	678	2,272
営業外費用合計	1,157	7,671
経常利益	77,840	173,802
特別利益		
受入助成金	25,687	—
事業構造改善引当金戻入額	36,665	—
その他	52	—
特別利益合計	62,404	—
特別損失		
固定資産除却損	—	90
震災に伴う停電時休業手当	7,057	—
雇用調整支出金	38,477	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,966	—
特別損失合計	48,501	90
税引前四半期純利益	91,744	173,712
法人税、住民税及び事業税	3,761	6,263
法人税等調整額	34,805	—
法人税等合計	38,566	6,263
四半期純利益	53,177	167,448

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	91,744	173,712
減価償却費	4,162	3,117
ソフトウェア償却費	6,855	6,185
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△161	△3,975
賞与引当金の増減額 (△は減少)	73,879	△43,597
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,700	△21,078
受取利息	△129	△1,639
支払利息	478	1,535
固定資産除却損	—	90
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△12,359
売上債権の増減額 (△は増加)	14,432	△2,067
未収入金の増減額 (△は増加)	△901	38
前受収益の増減額 (△は減少)	△1,575	15
たな卸資産の増減額 (△は増加)	836	△941
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,076	365
未払金の増減額 (△は減少)	△10,036	13,909
未払費用の増減額 (△は減少)	△31,874	△4,722
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,715	1,230
その他	15,906	25,081
小計	176,956	134,898
利息の受取額	129	2,561
利息の支払額	△407	△2,140
法人税等の支払額	△8,131	△3,754
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,546	131,564
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,449	△480
有形固定資産の売却による収入	—	12
無形固定資産の取得による支出	△4,467	△1,000
投資有価証券の取得による支出	—	△470,554
投資有価証券の売却による収入	—	126,111
貸付金の回収による収入	—	500,000
その他	△90	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,007	154,078
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	165,000
短期借入金の返済による支出	—	△71,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△33,336	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△33,336	284,000
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	128,203	569,642
現金及び現金同等物の期首残高	1,209,071	859,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,337,274	1,429,397

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間（自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,854,853	226,867	78,094	2,159,815
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,854,853	226,867	78,094	2,159,815
セグメント利益	71,660	3,858	2,448	77,967

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

II 当第2四半期累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	エンジニアアウトソーシング事業	N&Sソリューション事業	ビジネスソリューション事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,668,916	246,770	17,666	1,933,353
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,668,916	246,770	17,666	1,933,353
セグメント利益又は損失(△)	142,790	19,730	△2,162	160,358

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項ありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、提供するサービスの性格上、生産実績に馴染まないため、当該記載を省略しております。

②受注実績

当社が行うエンジニアアウトソーシング事業は、受注時の業務量がその後の顧客の要望に合わせて変更することが多く受注状況を正確に把握することが困難であるため、当該記載を省略しております。

③販売実績

事業部門	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前事業年度	
	(自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)		(自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)		(自 平成22年10月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
エンジニアアウトソーシング事業	1,854,853	85.9	1,668,916	86.3	3,633,812	86.6
N&Sソリューション事業	226,867	10.5	246,770	12.8	454,419	10.8
ビジネスソリューション事業	78,094	3.6	17,666	0.9	108,427	2.6
合計	2,159,815	100.0	1,933,353	100.0	4,196,658	100.0

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 各会計期間における予想対比について

(単位：百万円)

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
予想値 (A)	950	50	950	50	960	45	940	55	3,800	200
決算値 (B)	985	91	948	81						
達成率 (B/A)	103.7	184.0	99.8	163.7						
(ご参考) 前期実績 (平成23年9月期)	1,096	25	1,063	52	1,047	29	989	18	4,196	125
前年同期比	89.9	365.4	89.1	155.4						

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。